

令和5年度 第2回沼津市幼保小連携協議会 報告

1 日 時

令和5年10月26日(木) 14:30~16:20

2 場 所

青少年教育センター2階 第2・3会議室

3 出席者

小口 芳夫 (大平小学校 校長) 蓮池 千春 (金岡小学校 教諭)
古屋 徳恵 (香貫小学校 教諭) 角田 善恵 (愛鷹小学校 教諭)
釜原 茜 (愛鷹幼稚園 主任教諭) 眞野 裕輝 (原町幼稚園 主任教諭)
長澤 あすか (西浦保育所 副所長) 松尾 ふみこ (霊山保育園主任保育士)
宮ヶ丁 恵美 (しんあい保育園 主任保育士)
杉浦 敬子 (幼保連携型認定こども園杉浦学園 副園長)
後藤 信俊 (幼保連携型認定こども園こずわ幼稚園 園長)
欠席 相原 恵 (大平幼稚園 主任教諭)

事務局：教育企画課、学校教育課、教職員研修センター、子育て支援課

4 協議内容

令和6年度沼津市幼保小連携合同研修会について及び今年度の連携状況について

(事務局より)

令和5年7月7日に開催した第1回幼保小連携協議会での意見を踏まえ、次年度の沼津市幼保小連携合同研修会の内容検討を行う。今年度の連携状況の情報交換も行いながら、今後連携をさらに推進していくためにどのような取組をするとよいか。

(主な意見)

【教育講演会について】

(幼保) 今年度の講演会のテーマが充実していたので、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をさらに深めていけるとよい。

(幼保) 幼保と小、どちらにとっても聞いてよかったと思えるような講演になるとよい。

(小) まだまだ知らないことが多いので幼児教育についての理解をもっと深めたい。また、子供たちが円滑に学校生活に慣れていけるようにするためには、アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの理解がもっと必要だと思う。

(幼保) 誰が参加するかによって、内容を精査していく必要がある。何を連携の軸にするのかによっても変わる。

(幼保) 連携すべきことは、子供たちがスムーズに小学校生活を送るための情報交換であると思う。その必要性についての理解や意識が高まるような講演会もよいのではないかな。

(小) 管理職の先生方や参集しない先生方にも聞いてもらえるように、オンラインでの配信が実現できると、連携に対する意識を高めることができる。園内研修や校内研修でも活用できるのではないかな。

(小) 特別な支援を要する児童への対応について聞きたい。

(幼保) 市内で行われている具体的な連携の取組や実践の話を広める機会としてもよい。

【ブロック別連携協議会について】

(幼保) 今年度の合同研で今後の計画を立てることができ、夏期休業中に小学校に集まり、情報交換する機会ができた。また、次年度の4月に集まることが決まり、次年度のメンバーで引継ぎを行うことになっている。合同研修会をきっかけに連携が進んでいる。

(小) 複数の園と2学期や3学期に学校見学や交流会の計画を立てている。

(幼保) 管理職同士が話し合う機会を設け、どんな連携をするか具体的な話し合いを行う予定である。

(小) 今年度の連携協議会では、顔合わせをすることができたが、実際にいつ集まるかは教務主任

がないと話が進められなかった。その場で決めるなら、教務主任がいるとよい。

(幼保) ブロック別連携協議会は何をテーマに話し合うかがあらかじめ分かっていると準備ができ、限られた時間でも有意義な話し合いになる。

(小) 幼保で過ごしていたときの様子や支援の方法などについて聞きたい。

(幼保) 具体的な子供のあらわれとして、入学後の様子が知りたい。協議する内容があらかじめ分かっているならば、年長児の時の担任が参加するということを決められる。

(小) 少人数の入学数であっても、関わりのある小学校とフリートークの時間に話したい。小学校によっては混雑してしまうことも予想されるが、せっかくの機会なので顔合わせができるとその後の連携につながる。

(幼保) 入学後の子供たちの様子を知りたいので、子供のことを情報交換するなら、5月下旬か6月上旬頃なるべく早い時期に開催できるとよい。

(小) 合同研修会とは別に、市内全体で各ブロックでの交流について行うように呼びかけられないか。

(幼保) 学校へ連絡するのに、誰が窓口になっているのか分からず躊躇してしまう。連絡が密にできる環境である、とはまだ言えない。

5 ICT 機器を活用した連絡ツールについての意見交換

(事務局より)

ICT 機器を用いた連絡ツール活用の目的は、ブロックごとの円滑な連携、情報交換や日程調整の負担を軽減することである。データのやりとりも比較的容易にでき、オンライン会議の開催も可能となることから市内の全幼保に小学校と同様の Google アカウントを付与し、円滑な連携の一助としたい。そのため、体験研修を実施し委員のご意見を伺いたい。

(幼保) 会議を簡単に開くことができて便利である。

(小) Google forms を使って日程調整ができるとよい。Google meet を使って打合せができるのは移動の必要もなく会議がしやすい。

(幼保) Google meet を活用して動画で授業の様子を配信してもらえると、普段の授業の様子を知ることができる。

(幼保) 慣れるまでに時間がかかるかもしれないが、できないと言っているだけでも進まないもので、活用していきたい。

(幼保) 幼保によっては環境が整っていない園もあるかもしれない。

(幼保) Classroom に投稿があったことを知らせる必要がある。

(小) Gmail に連絡が入るようになっているが、それをチェックする必要がある。学年内で担当を決めるなどして、情報を見落とさないようにする体制づくりが必要になる。

(幼保) 実際に使う前に、研修の機会があるとよい。少しずつ使い慣れていければよい。